



T-GRABIC

BRAND  
NEW  
WHEELS



# CRAG T-GRABIC SHADOW EDITION T-GRABIC II SHADOW EDITION

クラッグ・ティーグラビック&  
ティーグラビックII シャドウエディション

問ワーク ☎06-6746-2859  
<https://www.work-wheels.co.jp>

| SIZE          | H-P.C.D | PRICE   |
|---------------|---------|---------|
| 17x8.0J       | 6-139.7 | 5万3900円 |
| ●カラー: マットブラック |         |         |
| ●製造1ピース       |         |         |



限定カラーに合わせて  
リング部分がマット  
ブラックになったシャド  
ウエディション専用の  
センターキャップ。

世界一過酷だと評されるアメリカのBAJA1000レースで採用されたホイールから生まれたT-GRABICと、それをさらにブラッシュアップしたT-GRABIC II。この2モデルはクラッグらしい土の薫りをまとった強靱でホンモノ志向なクロスオーバーギアで、履けば足元の力強さが加速する注目の人気モデルだ。

そんな2モデルに新たに設定されたのが、闇をまとったフルブラックアウト仕様、シャドウエディション。採用されるのは質感独特なマットブラックで、リムのドリルドピース、中央のWマーク以外はまさに漆黒の黒いフィニッシュ。無骨さ、ワイルドさがさらに際立てられるため、アウトドアギア感も倍増だ。

専用センターキャップ、専用エアルバルブが採用されるのも優越。しかも数量、各モデル300本限定という希少性も魅力。スペシャルな足を狙うなら、ぜひ。

足元の力強さがさらに高まる  
300本限定の「シャドウエディション」



T-GRABIC II



Demo Car  
LANDCRUISER PRADO  
KADDIS AR4 150PRADO

☎ロードハウス ☎048-963-7600 <https://roadhouse.co.jp>



ART RACING  
660SPEEDSTER



# ART RACING COPEN WORK MEISTER

製作ショップ:アートレーシング <https://www.art-racing.jp>

3ピース構造でディープカスタムにも対応するサイズを用意するマイスターCR01だから、アートファクトリーが手がけたモンスターマシンにもジャストフィット。サイズだけでなくカスタムオーダープランも設定。ディスクはマットブラック、リムはブラックアルマイトというオーダー仕様をセットアップ。

matching size  
F=15×10.0J-18 R=15×11.0J-31  
TIRE F=25.5×8.5 R=25.5×10.0

組立ホイールで実現する  
スペシャルなセッティング

# WORK MEISTER CR01

ワーク マイスターシーアールゼロワン

☎ワーク 06-6746-2859 <https://www.work-wheels.co.jp>

| SIZE          | H-P.C.D                        | PRICE           |
|---------------|--------------------------------|-----------------|
| 15×5.0J~13.0J | 4-100, 4-114.3                 | 5万600円~8万4700円  |
| 16×5.0J~11.0J | 4-100, 5-100, 4-114.3, 5-114.3 | 5万9400円~8万9100円 |

●カラー: マットカーボン、バフフィニッシュ、チタンゴールド ※カスタムオーダープランの設定あり  
●铸造3ピース

かつて一世を風靡した王道レーシングホイールを、すべてにおいて現代的にアップデートしたマイスターCR01。走りを与えさせる精悍なフォルムに新しいリムを携えたこのモデルは、3ピースの組立構造であるため、よりディープなセッティングを追求できるなど、カスタムにおける懐が深いことも魅力のひとつだ。

例えばボディワークのエキスパート、アートレーシングが作り上げたスペシャルカーであるこのコペン。ポルシェ356スピドスターにいかんして近付けるか、をテーマとした超ワイドボディ仕立てで、コペンとは名ばかりのほぼほポルシェ!!。当然ながらタイヤ、ホイールともにまさに圧巻の極太サイズでのマッチングだ。

ここに合わせたのがCR01の15インチ。フロントが10Jのマイナス18、リアが11Jのマイナス31という驚愕サイズ。一般的な市販ホイールのラインアップでは、こんなサイズは手に入らない。けれどもレース活動由来のCR01には、存在するのだ。ディープカスタムにもCR01であれば、パーフェクトに対応できる。





RB3オデッセイ【平成24年式】

あらゆるスタイルに映えるスポーティデザインに惚れ込んでワークエモーションCR2PをRB3オデッセイにマッチングするShunちゃんさんは、これまでノーマルフェンダーで履きこなしていた足もとへ圧巻の深みを加えるべくワイド化に着手！フロント片側100mm、リア片側150mmものワンオフフェンダーを作り上げて、フロントは9.5Jから10.5J、リアは10.5Jから12Jへサイズ変更している。もちろん、大のお気に入りである2×5のディスクデザインはそのままだが、暴力的ともいえるフェンダーボリュームとリムの深みによって、足もとのイメージは激変。お気に入りのワークエモーションCR2Pに、圧巻インパクト放つ新境地を切り開いた。

主要SPEC タイヤ/バンコック・ヴェンタスエボ2(F225/35、R245/35) エクステリア/F/S/R/フェンダー/ヘッドライト/テールレンズ=ワンオフ 足まわり/車高調=326パワー ブレーキ=Tスタイル・オリジナル チューニング/マフラー=ワンオフ ほか



OWNER Shunちゃんさん

あらゆるスタイルに映えるスポーティさに惚れ込み、ワークエモーションCR2Pを採用。フェンダーボリュームは深みありきで決め込んだ。

ワークエモーションCR2P

19×F10.5J-33、R12.0J-51

(F225/35、R245/35)



ワンオフフェンダーで圧巻の深さを与えた足もと。内外装の差し色に使うブルーをセンターキャップやナットに配色している。

ワンオフフェンダーで  
スポーティさの新境地へ

20  
インチ×ホワイトレターで  
ワイルドスポーティな足もとを構築



ハイラックス【平成31年式】

16インチ、17インチ、そして18インチとオフ系ホイールの定番どころをすべて履きこなしてきた細見さんは、オリジナリティの打ち出しを思案している最中にラージP.C.D.でもスポーティで足長感の強いワークエモーションCR SUVに注目。ワイルドさを打ち出してサイドウォールのボリューム感を追求する傾向にあるオフ系スタイルと決別するように、20インチ×ホワイトレターによるワイルドスポーティな足もとを魅せを図ってきた。なお、足まわりはノーマルだが、50扁平のサイドウォールとフェンダークリアランスのバランスは上々。迫力のある大口径ディスクによって、オンはもちろん、オフでも存在感ある一台へと導いている。

主要SPEC タイヤ/モンスタ・テレーグリップー (265/50) エクステリア/R=海外純正 フェンダー/ロールバー=TRD インテリア/各部アイボリー化、レカロ・SR-7 ほか



OWNER 細見武蔵さん

オリジナル感のある足もとを見事打ち出した細見さん。ドリ車用CR KIWAMIをベースに、レプリカ仕様のラジコンも製作！

ワークエモーションCR SUV

20×9.0J+0(265/50)



ラージP.C.D.でも20インチなら足長感に物足りなさはなし。ホワイトレターとリムの輝きで外周視点も強化される。



ワークホイール装着車の  
目立てる足元メイクをチェック！



# WORK WHEELS JACK

ワークホイール  
ジャック

日時:2022年9月23日(祝)

場所:舞洲スポーツアイランド

URL:<https://www.work-wheels.co.jp>

ワークのホイールを履いたユーザーが参加できるイベントが大阪で開催。あいにくの台風直撃という条件だったが、足元をパシッとキメたユーザーを直撃してきたぞ！

グノーシスCVS

20×F9.5+25、R10.0J+15

(F235/35、R245/35)



左はリム！右はディスク!!  
左右で異なる足もとの魅せ場

適度な抜け感を備えたグノーシスCV5はブレーキシステムとの相性もバツグン。キャリアの存在感とともに足もとを美しく魅せる。

OWNER YUKIZO-Kさん

インパクトある深みよりも、アルファードの車格にこだわってさりげない履きこなしを心がけたとのこと。歩磨ちゃんと。



30アルファード【平成31年式】

「最新こそ最良!」との考えから気品と躍動感に溢れるデザインのグノーシス・CV5をデビュー直後にオーダーしたものの、セミオーダーカラーがイベントに間に合わなかったため一度はマットシルバーをマッチングしたYUKIZO-Kさん。しかし、どうしてもカッパークリアの美しさが忘れられず、サイズはそのままに履き直した。なお、運転席側はディスクをカッパークリア、助手席側はリムをカッパークリアに近い発色となるキャンディオレンジでカラーアレンジ。アルファードの高級感は崩れないように近似色しつつ、左右の足もとで異なる魅せ場によってスタイリングイメージの変化を打ち出している。

主要SPEC タイヤ/トーヨー・プロクセス(F235/35、R245/35) エクステリア/F/S/R=ヴァルド、ヘッドライト=アマプロ工房オリジナル 足まわり/エアサス=エアフォース ブレーキ=ファイナルコネクション ほか





ツイストデザイン×ブレーキで  
躍動感と迫力を足もとから放つ



アテンザワゴン【平成25年式】

足もとのリメイクを思案していたタイミングで19インチが追加されたため、マイスターM1RからジーストST3へ履き替えた藤本さん。唯一誤算だったのはメッシュデザインではまったく気にならなかった純正ブレーキのブアさだったが、ウェーブ形状のローターとイエローカラーのキャリパーが視線を惹きつけるイデアルのブレーキシステムを追加投入して、しっかり解消している。なお、ブレーキシシステムまでハッキリ見えるジーストST3だからこそ、魅せ効果はバツグン。ツイスティデザインで躍動感ある足もとに逞しき迫力が備わり、シンプルスタイルでアプローチするエクステリア全体の完成度も大幅に高められたのだ。

主要SPEC タイヤ/ハイフライ・HF805(F235/35、R265/30) エクステリア/F=純正オプション S=マツダスピード R=クロノス・カオス、ルーフスムージング 足まわり/エアサス=イデアル ブレーキ=イデアル ほか



OWNER 藤本将太さん

モトースタイルにあわせ、シルバーディスク×ブラッシュドリムをチョイス。ボディから細部に至るまで繊細な作り込みを図る。

ジーストST3

19×F9.5J+11、R10.5J+9  
(F235/35、R265/30)



足長感と深みの双方満たすジーストST3はブレーキシシステム投入で一層完成度の高い足もとに仕上がっていく。

歴代の愛車はマイスター一筋！  
オフスタイルにも迷わず投入



デリカD5【平成22年式】

シンプルで力強いデザインに惹かれ、愛車の足もとは常にマイスターで飾ってきた伊藤さん。アウトドアを楽しむため、マイスターS1・18インチをマッチングしていたステップワゴンからデリカD5への乗り換えを決意した際も、18インチが履きこなせないといわかった段階で迷わずマイスターシリーズからマッチング可能なホイールを探し出している。「フロント60mm、リア45mmワイドのオーバーフェンダーにドンビシな履きこなしとなるよう、マイスターCR01をチョイスしました。17インチが設定されていないため16インチとしましたが、バツバツ状態のキャリパーで思っていた以上に力強い足もとへと仕上がりました」とのことだった。

主要SPEC タイヤ/マキシム・MT-764ビッグホーン(265/70) エクステリア/ヘッドライト=ワンオフ テールレシズ=ブルン フェンダー/バンパーガード=メーカー不明 足まわり/サス=KYB ほか

OWNER 伊藤宏匡さん

ボディカラーに合わせたカラーアレンジにより、お気に入りのマイスターで一体感ある足もとを確保。麻菜美さん、柚希くんと。

マイスターCR01

16×8.5J-15(265/70)



深みのあるステップリム、力強い5本スポークのマイスターCR01はオフ系タイヤとの相性もバツグンだ。

エアサス&フルリバースの足もとで  
注目の90ノアを速攻攻略！



90ノア【令和4年式】

長期納車待ちのユーザーが多いとされる90ノアにエアサス&フルアームを投入して速攻攻略してきた瀬戸さんは、ワークホイールオンリーとなる今回のイベントへエントリーするためだけにホイールを新規オーダーしたという気合いの入れようだ。普段は某メーカーの5本スポークをステップリムでマッチングしているため、似た雰囲気を持つワークジスタンス・W5Sをオーダーしようとしたのだが、肝心のイベントに間に合わないことが判明。そこで「過去にマッチング経験のなかったフルリバースを与えてみよう」とVS XXをマッチングしたのだが、高級感あるメッシュディスクにリムの深みがシンプルに際立って満足度の高い仕上がりととなったそう。

主要SPEC タイヤ/ルッチーニ・フォーノスポーツ(205/35) エクステリア/F/S/R/フロントグリル=モデリスタ 足まわり/エアサス=D2&エアメクス、アクスル加工、フルアーム ほか

OWNER 瀬戸良一さん

話題の90ノアを速攻攻略するだけでなく、ホイールまで履き替えてエントリー。今後もキャンパー増しなど進化を進めていく予定だ。

VS XX

19×8.5J+17(205/35)



リムの深さと高級感あるメッシュディスクが美しいVS XX。カラーナットのアクセント付けも効果的だ。

オリジナル調色の差し色に  
リムカラーもシンクロ！



C-HR【平成30年式】

差し色にオリジナル調色のブラウンを採用し、C-HRへ重厚かつ味わい深い塊感を引き出してきたShunさん。低さにこだわった足もとを引き立てているのはディープコンケイブの5本スポークでスポーティさを放つバックレーベル ジーストBST2だが、リムを差し色のブラウンに近いブロンズアルマイトヘカラーアレンジしてボディとの一体感も抜かりなく高めあげている。ブラック×ブラウンのカラーコードを徹底するだけでなく、フェンダー樹脂モールをペイントして質感の統一にもこだわった圧巻のワイド&ロースタイル。こうしたアプローチでもどこか軽快さを感じるのは、足もとの抜け感を備えたバックレーベル ジーストBST2の効果だろう。

主要SPEC タイヤ/イーグルS EXE(225/35) エクステリア/F/S/R=モデリスタ フロントグリル=ノブレッセ リアスポイラー=クール 足まわり/車高調=ブリッツ&326パワー、アーム=ティメンド、イデアル チューニング/マフラー=センサブランド加工 ほか



OWNER Shunさん

オリジナリティを突き詰めるため、細やかな色使いとツラをこだわり抜いてきたShunさん。同じくC-HRオーナーである杏佳さんと。

バックレーベル ジーストBST2

20×9.0J+30(225/35)



ディープコンケイブの5本スポークでスポーティなインパクトを出す。リムにはレーザータトゥーもあしらった。